

第2章 阿久比町と水道事業の概要

1. 阿久比町の概要

本町は、愛知県知多半島のほぼ中央に位置し、半田市、常滑市、知多市、東浦町と接しています。東西、南北ともに約6km、23.80km²の面積を有し、町のほぼ中央を南北に流れる阿久比川があり、比較的平坦な地形が分布し、その周囲に小高い丘陵地帯が連なっています。

本町は、古くから、阿久比川流域の肥沃な農地を中心に長く純農村として発展してきました。その後、動力の近代化や交通網の整備とともに、県内有数の織物産地となりました。昭和30年代後半より住宅開発が進み、知多郡でも最も高い人口増加率を示すなど、大都市近郊のベッドタウンとして発展してきました。一方で、板山高根湿地やホテルの舞う自然が残り、住宅地と豊かな農地やみどりが囲む良好な景観を保っています。



板山高根湿地



阿久比町の水田や川のほとりなどに多く生息するハイケボタル



権現山とヒガンバナ

2. 水道事業の概要

本町の水道事業は、昭和38年に創設以降、第1期(昭和42年)、第2期(昭和48年)、第3期(平成3年)と、町の進展に合わせ事業を拡張し、給水人口と給水量の増加に対応してきました。平成29年度末では、給水人口28,568人、1日最大給水量9,134m³/日の規模となりました。

阿久比町水道事業の沿革

事業名	認可年月日	認可番号	目標年度	計画			主な事業内容
				給水人口	1日最大給水量	1人1日最大給水量	
創設	昭和38年 3月1日	38指令環 第9-19号	—	(人) 6,000	(m ³ /日) 900	(L) 150	
第1期 拡張事業	昭和42年 3月31日	42指令環 第11-38号	昭和 50	16,150	5,600	350	八ヶ谷配水場築造 (昭和44年)
第1期 拡張変更事業	昭和46年 6月30日	46指令環 第28-18号	昭和 50	16,150	5,600	350	
第2期 拡張事業	昭和48年 1月5日	厚生省環 第8号	昭和 55	28,800	12,100	420	草木配水場築造 (昭和49年)
第3期 拡張事業	平成3年 3月30日	3令環 第51-5号	平成 12	30,600	13,100	428	高根配水場築造 (平成25年)